

## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 アールビバン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7523 URL http://www.artvivant.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

定時株主総会開催予定日 2024年6月24日

配当支払開始予定日

2024年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,006	2.6	2,364	5.2	2,919	38.9	1,766	30.5
2023年3月期	10,724	4.6	2,248	4.1	2,102	12.9	1,354	17.7

(注) 包括利益 2024年3月期 1,797百万円 (29.1%) 2023年3月期 1,393百万円 (24.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	163.86		11.3	8.7	21.5
2023年3月期	123.83		9.1	6.7	21.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	34,234	15,888	46.4	1,548.77
2023年3月期	32,918	15,394	46.8	1,405.48

(参考) 自己資本 2024年3月期 15,888百万円 2023年3月期 15,394百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	495	558	779	4,773
2023年3月期	162	308	1,585	5,480

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		15.00		15.00	30.00	329	24.2	2.2
2024年3月期		30.00		30.00	60.00	628	36.6	4.1
2025年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00			

2024年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 記念配当15円00銭 合計30円00銭

2024年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 記念配当15円00銭 合計30円00銭

2025年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭

2025年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,050	12.6	1,050	27.8	1,050	40.8	600	48.6	58.49
通期	10,400	5.5	2,100	11.2	2,100	28.1	1,100	37.8	107.23

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	12,963,816 株	2023年3月期	12,963,816 株
期末自己株式数	2024年3月期	2,705,147 株	2023年3月期	2,010,647 株
期中平均株式数	2024年3月期	10,783,643 株	2023年3月期	10,937,164 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	7,588	9.8	1,622	54.6	2,000	79.5	1,340	63.3
2023年3月期	6,911	3.5	1,049	10.2	1,114	22.3	820	6.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	124.35	
2023年3月期	75.06	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	23,844	11,265	47.2	1,098.11
2023年3月期	22,563	11,249	49.9	1,027.02

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,265百万円 2023年3月期 11,249百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧米を中心とする海外経済の減速、円安や資源高により製造業の減収懸念、実質賃金のマイナスでの推移など物価高の影響があるものの、インバウンド需要や個人消費の回復などコロナ禍からの回復により経済活動の正常化が進み、総じて、景気は緩やかに持ち直しが見られております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年4月度よりスタートした第40期は、創業40周年という節目を迎え、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、一段と事業運営に注力いたしました。

更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越しただいており、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまいりました。

「健康産業事業」では、フィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」は業績の回復が見込まなかったことから、2023年12月をもって閉店いたしました。ホットヨガ事業におきましては、2020年4月、5月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による店舗休業において休会・退会会員が多く発生し、その後、徐々に回復はしてきているものの、依然として、会員数確保の厳しい状況は続いております。今後とも、新規会員の獲得・退会防止を行い、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

この結果、売上高は11,006百万円（前期比2.6%増）となり、営業利益は2,364百万円（同5.2%増）となりました。経常利益は投資有価証券売却益477百万円を計上したことにより2,919百万円（同38.9%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,766百万円（同30.5%増）となりました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりであります。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

この結果、売上高は8,114百万円（同4.6%増）、営業利益は1,229百万円（同11.6%増）となりました。

#### ◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業（以下、クレジット事業といいます）を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,640百万円（同5.1%増）となり、営業利益は1,148百万円（同2.9%増）となりました。

#### ◆健康産業事業

ホットヨガ事業・フィットネス事業におきましては、2020年4月、5月において緊急事態宣言等の影響により、休会会員が多く発生し、徐々に回復はしてきておりますが、依然として、会員数減少の厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は1,279百万円（同10.6%減）となり、営業損失は64百万円（前期は19百万円の営業損失）となりました。

（注）フィットネス事業

フィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」は、業績の回復が見込まなかったことから、2023年12月をもって閉店し、フィットネス事業は終了いたしました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は29,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,537百万円増加いたしました。これは主に、高額美術品の購入等により現金及び預金が706百万円減少したものの、高額美術品の購入により商品及び製品が1,924百万円、クレジット事業の割賦債権取扱高増加等により売掛金が424百万円増加したものであります。固定資産は4,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円減少しました。これは主に、長期貸付金110百万円、投資有価証券が79百万円、繰延税金資産が68百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は34,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,315百万円増加いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は17,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ842百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が348百万円、1年内返済予定の長期借入金が220百万円、その他流動負債が213百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が22百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は18,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ822百万円増加いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は15,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円増加いたしました。これは主に、自己株式の取得が852百万円、剰余金の配当により利益剰余金が485百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益が1,766百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.4%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ706百万円減少し、4,773百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は495百万円（前連結会計年度は162百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,849百万円の増加要因があったものの、棚卸資産の増加1,962百万円、法人税等の支払額978百万円、投資有価証券売却益477百万円等の減少要因があったことによります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は558百万円（前連結会計年度は308百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出3,012百万円等の減少要因があったものの、投資有価証券の売却による収入3,621百万円等の増加要因があったことによります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は779百万円（前連結会計年度は1,585百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,100百万円等の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出853百万円、自己株式の取得による支出852百万円等の減少要因があったことによります。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、海外情勢や海外経済の減速、円安や資源高により製造業の減収懸念、物価高による個人消費の悪化懸念があるものの、好調な企業収益、設備投資の拡大や雇用・所得環境の改善などが見込まれ、総じて、景気は持ち直し、わが国経済は内需主導で緩やかに回復していくことが期待されます。

このような状況のなか、当社グループは、1984年の創業以来、変わることなく、「心の豊かさ」を提案し続けてまいりました。アートやヨガ、ファイナンス事業によって、様々な刺激、感動を得て、生きる力を強め、喜びを深め、創造性を高めて、人間本来の本質・原点に立ち戻っていくことのお手伝いをし、幸福を広げる会社でありたいと考えております。

主力のアート関連事業におきましては、多くのアーティストを発掘し、広めてまいりました。1984年に創業後、1996年に業界初の上場を果たし、アート市場を切り拓いてきた開拓者であり、先導役であると自負しております。「日本の文化水準を上げる」「日本全国に心の灯りをともす」「日本発のアーティストを世界に発信する」といった当社がめざすビジョンにより近づけるよう、成長スピードを上げていきたいと考えております。

当社は、更に、事業運営に注力し、中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」及び「健康産業事業」において、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいります。

#### (2025年3月期連結業績予想について)

2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は10,400百万円（前期比5.5%減）、営業利益は2,100百万円（同11.2%減）、経常利益は2,100百万円（同28.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,100百万円（同37.8%減）を見込んでおります。

売上高の減少の主な要因は、前期には高額美術品の販売が488百万円あったこと、事業を終了したフィットネス事業の売上が207百万円あったことによります。営業利益の減少の主な要因は、前述の高額美術品の販売による営業利益があったことによります。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の減少の主な要因は、前期には前述の高額美術品の販売による営業利益があったこと、投資有価証券売却益が477百万円あったことによります。

アート関連事業におきましては、引き続き、より多くのお客様に催事会場にお越しいただけるよう注力し、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行うとともに、日本全体にアートに込められた力により「癒し、希望、元気」といったメッセージを一人でも多くの方に広めてまいります。

金融サービス事業におきましては、一般加盟店の顧客に対するクレジット事業の拡大を図るよう営業を強化してまいります。

健康産業事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による会員数の減少により、会員数は依然として厳しい状況は続いておりますが、会員が増加に転じるよう、店舗やサービスの魅力の向上を図ってまいります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後の状況の変化によって、今期の連結業績予想に関して、開示すべき重要な事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値の向上を経営の最重要課題として位置付け、将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に努めるとともに、安定的に可能な限り高水準な配当を行う事を基本方針とし、財政状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案して実施してまいりたいと考えております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

2023年4月度よりスタートした第40期におきまして、創業より40周年を迎えることができました。株主・投資家の皆様をはじめお取引先及び関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

当期の配当金につきましては、株主の皆様方の日頃のご支援、ご協力に感謝の意を表すために、1株当たり30円の普通配当に創立40周年記念配当30円を加え、合計60円の配当（うち中間配当30円）を実施することを決定いたしました。

次期の配当といたしましては、株主の皆様方の日頃のご支援、ご協力に感謝の意を表すために、引き続き年間60円の配当を継続し、1株当たり30円の普通配当に特別配当30円を加算し、合計60円の配当（うち中間配当30円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,480,136	4,773,339
売掛金	15,462,884	15,887,713
商品及び製品	5,705,212	7,629,550
仕掛品	13,106	14,371
原材料及び貯蔵品	70,645	107,051
前払費用	215,680	225,708
その他	1,067,273	934,491
貸倒引当金	△71,603	△91,149
流動資産合計	27,943,335	29,481,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,336,818	1,151,576
減価償却累計額	△1,014,746	△920,724
建物及び構築物（純額）	322,072	230,852
土地	237,367	237,367
リース資産	107,778	35,972
減価償却累計額	△80,437	△22,710
リース資産（純額）	27,341	13,262
建設仮勘定	15,345	—
その他	414,102	349,347
減価償却累計額	△332,256	△296,360
その他（純額）	81,846	52,987
有形固定資産合計	683,973	534,468
無形固定資産		
その他	36,570	88,424
無形固定資産合計	36,570	88,424
投資その他の資産		
投資有価証券	2,299,045	2,219,376
長期貸付金	392,000	282,000
敷金及び保証金	230,188	215,917
繰延税金資産	320,916	252,803
退職給付に係る資産	19,020	20,783
その他	1,135,515	1,274,834
貸倒引当金	△142,417	△135,640
投資その他の資産合計	4,254,268	4,130,075
固定資産合計	4,974,812	4,752,967
資産合計	32,918,148	34,234,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	409,838	364,608
短期借入金	8,215,773	8,564,581
1年内返済予定の長期借入金	687,228	907,458
リース債務	17,723	10,967
未払法人税等	532,314	612,191
前受金	2,451,084	2,486,720
割賦利益繰延	2,719,425	2,785,509
賞与引当金	54,084	56,414
資産除去債務	350,000	277,753
その他	859,717	1,073,681
流動負債合計	16,297,190	17,139,887
固定負債		
長期借入金	1,020,046	1,045,901
リース債務	14,807	3,840
退職給付に係る負債	134,653	133,776
繰延税金負債	42,373	19,435
その他	14,568	2,932
固定負債合計	1,226,450	1,205,885
負債合計	17,523,640	18,345,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,826,649	1,843,317
資本剰余金	5,102,494	5,098,196
利益剰余金	9,573,532	10,855,299
自己株式	△1,160,079	△1,991,334
株主資本合計	15,342,596	15,805,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,778	68,383
退職給付に係る調整累計額	16,132	14,409
その他の包括利益累計額合計	51,911	82,792
純資産合計	15,394,508	15,888,271
負債純資産合計	32,918,148	34,234,044



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	10,724,889	11,006,334
売上原価	3,766,403	3,902,711
売上総利益	6,958,486	7,103,623
販売費及び一般管理費	4,710,397	4,738,946
営業利益	2,248,088	2,364,676
営業外収益		
受取利息	7,911	5,470
有価証券利息	—	41,973
受取配当金	33,308	29,041
投資事業組合運用益	—	23,884
投資有価証券売却益	—	477,607
貸倒引当金戻入額	720	—
為替差益	66,164	32,666
その他	15,157	18,396
営業外収益合計	123,261	629,039
営業外費用		
支払利息	64,753	68,825
社債利息	550	—
投資事業組合運用損	11,756	—
投資有価証券売却損	18,905	—
投資有価証券評価損	168,975	—
貸倒引当金繰入額	—	1,473
その他	4,384	3,660
営業外費用合計	269,326	73,959
経常利益	2,102,024	2,919,757
特別利益		
固定資産売却益	115,360	—
資産除去債務戻入益	5,000	60,780
特別利益合計	120,360	60,780
特別損失		
固定資産除却損	—	3,218
店舗閉鎖損失	106,207	57,280
減損損失	247,928	70,396
リース解約損	10,542	—
和解金	15,844	—
特別損失合計	380,523	130,895
税金等調整前当期純利益	1,841,861	2,849,641
法人税、住民税及び事業税	931,781	1,055,764
過年度法人税等	△189,574	—
法人税等調整額	△254,670	26,885
法人税等合計	487,537	1,082,649
当期純利益	1,354,323	1,766,992
親会社株主に帰属する当期純利益	1,354,323	1,766,992

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,354,323	1,766,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,098	32,604
退職給付に係る調整額	△3,342	△1,723
その他の包括利益合計	38,755	30,881
包括利益	1,393,079	1,797,873
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,393,079	1,797,873
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,770,375	5,160,983	8,546,888	△1,233,327	14,244,920
当期変動額					
新株の発行	56,274	56,274			112,548
剰余金の配当			△327,680		△327,680
親会社株主に帰属する当期純利益			1,354,323		1,354,323
自己株式の取得				△41,514	△41,514
自己株式の消却		△114,763		114,763	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	56,274	△58,489	1,026,643	73,248	1,097,676
当期末残高	1,826,649	5,102,494	9,573,532	△1,160,079	15,342,596

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△6,319	19,475	13,155	14,258,075
当期変動額				
新株の発行				112,548
剰余金の配当				△327,680
親会社株主に帰属する当期純利益				1,354,323
自己株式の取得				△41,514
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	42,098	△3,342	38,755	38,755
当期変動額合計	42,098	△3,342	38,755	1,136,432
当期末残高	35,778	16,132	51,911	15,394,508

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,826,649	5,102,494	9,573,532	△1,160,079	15,342,596
当期変動額					
新株の発行	16,667	16,667			33,334
剰余金の配当			△485,224		△485,224
親会社株主に帰属する当期純利益			1,766,992		1,766,992
自己株式の取得				△852,219	△852,219
自己株式の消却		△20,964		20,964	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	16,667	△4,297	1,281,767	△831,254	462,882
当期末残高	1,843,317	5,098,196	10,855,299	△1,991,334	15,805,479

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,778	16,132	51,911	15,394,508
当期変動額				
新株の発行				33,334
剰余金の配当				△485,224
親会社株主に帰属する当期純利益				1,766,992
自己株式の取得				△852,219
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	32,604	△1,723	30,881	30,881
当期変動額合計	32,604	△1,723	30,881	493,763
当期末残高	68,383	14,409	82,792	15,888,271

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,841,861	2,849,641
減価償却費	134,351	122,925
減損損失	247,928	70,396
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,054	12,768
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,023	2,330
退職給付に係る資産・負債の増減額	△2,480	△4,602
受取利息及び受取配当金	△41,219	△76,485
資金原価及び支払利息	87,553	100,161
投資有価証券売却損益(△は益)	18,905	△477,607
投資有価証券評価損益(△は益)	168,975	—
投資事業組合運用損益(△は益)	11,756	△23,884
店舗閉鎖損失	106,207	57,280
固定資産売却益	△115,360	—
為替差損益(△は益)	△79,645	△33,149
売上債権の増減額(△は増加)	△864,734	△424,828
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,323	△1,962,007
前払費用の増減額(△は増加)	△23,555	△11,481
長期未収入金の増減額(△は増加)	9,991	△6,730
長期前払費用の増減額(△は増加)	△379,154	△20,810
仕入債務の増減額(△は減少)	43,332	△45,229
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	151,590	66,084
前受金の増減額(△は減少)	177,809	35,636
その他	△522,018	318,358
小計	940,740	548,764
利息及び配当金の受取額	42,956	33,215
利息の支払額	△88,410	△98,707
法人税等の支払額	△732,619	△978,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,666	△495,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△82,078	△25,014
有形固定資産の売却による収入	578,258	—
投資有価証券の取得による支出	△1,560,310	△3,012,345
投資有価証券の売却による収入	740,594	3,621,406
貸付金の回収による収入	120,000	110,000
無形固定資産の取得による支出	△24,002	△67,348
敷金及び保証金の差入による支出	—	△5,015
敷金及び保証金の回収による収入	12,215	7,979
出資金の分配による収入	—	88,398
その他	△117,903	△159,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,225	558,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,715,764	348,808
リース債務の返済による支出	△214,868	△17,723
長期未払金の返済による支出	△84,649	△19,649
長期借入れによる収入	1,885,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,706,363	△853,915
社債の償還による支出	△640,000	—
自己株式の取得による支出	△41,514	△852,219
配当金の支払額	△328,298	△485,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,585,070	△779,929
現金及び現金同等物に係る換算差額	79,645	10,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,519,155	△706,796
現金及び現金同等物の期首残高	3,960,985	5,480,141
現金及び現金同等物の期末残高	5,480,141	4,773,344

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業統括を置き、アート関連事業を中心に事業活動を展開しております。

従って、当社は営業統括を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「アート関連事業」、「金融サービス事業」及び「健康産業事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アート関連事業」は版画・絵画・美術品の購入及び販売事業、「金融サービス事業」は個別信用購入あっせん事業及び融資事業、「健康産業事業」はホットヨガ及びフィットネスクラブ等の営業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注 1.2.3)	連結財務諸表 計上額(注 4)
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,755,690	1,538,367	1,430,831	10,724,889	—	10,724,889
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	22,206	—	22,206	△22,206	—
計	7,755,690	1,560,573	1,430,831	10,747,095	△22,206	10,724,889
セグメント利益 又は損失(△)	1,102,010	1,116,056	△19,156	2,198,910	49,178	2,248,088
セグメント資産	6,775,452	16,676,637	763,079	24,215,169	8,702,978	32,918,148
その他の項目						
減価償却費	57,775	4,213	72,283	134,271	79	134,351
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	85,280	4,907	24,953	115,141	—	115,141

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額49,178千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額8,702,978千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金(現金預金)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. 減価償却費の調整額には、全社資産に係る費用が含まれております。

4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注 1.2）	連結財務諸表 計上額（注 3）
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,114,973	1,611,806	1,279,554	11,006,334	—	11,006,334
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	28,266	—	28,266	△28,266	—
計	8,114,973	1,640,072	1,279,554	11,034,600	△28,266	11,006,334
セグメント利益 又は損失（△）	1,229,636	1,148,015	△64,252	2,313,399	51,277	2,364,676
セグメント資産	12,221,350	15,586,422	672,284	28,480,058	5,753,985	34,234,044
その他の項目						
減価償却費	50,286	4,146	68,492	122,925	—	122,925
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	38,110	63,210	1,665	102,986	—	102,986

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額51,277千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額5,753,985千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金（現金預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	—	—	247,928	—	247,928

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	19,472	—	50,923	—	70,396

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,405円48銭	1,548円77銭
1株当たり当期純利益	123円83銭	163円86銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,354,323	1,766,992
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	1,354,323	1,766,992
期中平均株式数(株)	10,937,164	10,783,643

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日別途公表しております「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。